

様式 1

完了報告書（平成 25 年度）

提出者 柿沼 英樹

提出年月日 平成 26 年 3 月 27 日

【プロジェクト名】

和文

ベトナム・中国における大学生の企業選好と日系企業の採用戦略

英文

Applicant attraction to Japanese firms: Evidence from job preference of Vietnamese and Chinese university students

【メンバー構成】

研究代表者 柿沼英樹（経済学研究科）

メンバー 尹向（経済学研究科）

【研究のねらいと目的】（600 字程度）

本研究プロジェクトの目的は、中国とベトナムにおける大学生の企業選好を明らかにすることにある。またその結果を踏まえて、日系企業が進出先国にて有能なローカル人材を確保するためにとるべき人材マネジメントのあり方を併せて検討することにもある。

企業の海外進出に際して、有能なローカル人材の確保は人材マネジメント上の重要な課題事項である。そこで、人材確保戦略のひとつである採用を考える鍵として、各国の求職者（特に大学生）の企業選択基準を検討する論考が蓄積されてきた。しかし、人間の意思決定プロセスを考慮すると、各要素についての重要度を直接的に尋ねた既存研究の知見が有用であるとは限らない。本研究プロジェクトでは、この課題を克服しうるポリシー・キャプチャリング方法論を用いて、ベトナムと中国において、大学生の企業選択基準を探索的に明らかにする。また、ベトナムに関しては、進出日系企業における人材マネジメントのあり方をヒアリングし、その現状と今後の課題についても考察を行う。

【活動の記録】

- ・大学生の企業選好調査（担当：柿沼、尹）：2013 年 12 月～2014 年 1 月にかけて、大学生の企業選択基準の探索的定量調査をベトナムと中国で実施した。ベトナム調査は、柿沼が現地で質問票を配布・回収した。中国調査は、尹が主導して現地調査会社に調査を委託した。
- ・在越日系企業における人材マネジメントのケーススタディ（担当：柿沼）：2013 年 12 月に、ホーチミンシティに本拠を置く在越日系企業を複数社訪問し、各企業における人材マネジメントのあり方について全体的なヒアリングを行った。また併せて、国際人的資源管理に関する近年の研究動向把握と、関連文献の収集を行った。
- ・プロジェクト期間中、柿沼はベトナム国家大学ハノイ校経済経営大学に Visiting Scholar として滞在していたため、研究に関する打合せはメールや Skype を用いて定期的を実施した。

【成果の概要】（800 字程度）

本研究プロジェクトの主たる成果は、以下の2点である。ひとつは、ベトナムと中国の両国における大学生の企業選択基準について、ポリシー・キャプチャリング方法論を用いた、より実際の意思決定に近いかたちでの定量調査を行ったことである。そしてもうひとつは、両国における調査結果の比較検討を行ったことである。日系企業の進出数が最大の中国と、今後数年で多くの日系企業の進出が想定されるベトナムの両国における同様の調査および国別比較は、ほとんど存在していない。そのため、本研究の成果およびこれを基礎とした今後の研究蓄積は、学术界と産業界の双方にとって示唆に富むものと想定される。

企業国籍、給与水準、仕事の内容、昇進機会、教育訓練の機会の5項目を用いた調査の結果は、以下の通りであった。まずベトナムでは、昇進機会、教育訓練の機会、仕事の内容、給与水準、企業国籍という順番であり、上位2項目が他の項目よりも重視されているという傾向が見られた。企業国籍は統計的に有意ではなく、内資企業と外資企業を区別して企業選択を行っているわけではないことが想定された。一方、中国では昇進機会、給与水準、仕事の内容、教育訓練の機会、企業国籍という順番であり、企業国籍以外の4項目はおおよそ同等の影響力を持っていた。企業国籍に関しては、外資系企業よりも中国系企業を選好すること、また外資系企業のなかでも日系企業の選好度は相対的に低い傾向にあることが推測された。

ベトナム進出日系企業におけるインタビュー調査では、各企業の人材マネジメントについて全体的なヒアリングを実施した。上述の大学生の企業選好調査と関連する事項では「日系企業が他社よりも相対的に高い給与を提示しており、それが入職希望者にとって大きな誘因となっているのではないか」という企業側の見解が示されている。実際に、今回訪問した企業のなかには、体系的な教育訓練プログラムが用意されておらず、人材募集時にも教育訓練に関してほとんど言及していないという企業もみられた。

【研究業績】

柿沼英樹（近刊）「ベトナム・ハノイ大学生の企業選好：ポリシー・キャプチャリング法による検討」『日本労務学会第44回研究報告論集』。

Kakinuma, H., Yin, X., Nham, P. T., & Wakabayashi, N. (forthcoming) “How graduates in emerging countries are attracted to Japanese companies? The case of Vietnam, approach from policy-capturing methodology”, Paper Presented at IFSAM 2014 World Congress in Tokyo.

【通信欄】